

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	予防行政の充実事業(消防音楽隊)				シート番号	090-026
担当部署名	消防	局	予防	部	予防査察	課 評価責任者(課長名) 山領

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 53 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市消防音楽隊規程			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを実現するため、適時・適切な情報を市民の方々に伝達する一手段として、消防職員等で構成された消防音楽隊を結成し、より効果的な消防広報活動を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	各種消防が行う行事及び校区自主防災訓練、他部局行事に参加した者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	防火・防災に関する適切な情報を「音楽」という幅広い世帯に親しまれている手法を用いて広報することで、防火防災思想の一層の普及啓発を図り、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	低年齢層への防火防災教育として市内の小学校を巡回し、「音楽鑑賞と防災のおはなし」を実施する。また、消防署で行われる火災予防イベント等の行事及び校区自主防災訓練、他部局行事に参画し、来場されている多くの市民に火災予防の啓発や防災に関する指導を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( )				
10	直接実施以外の主な支出先						

Ⅲ. 投入量

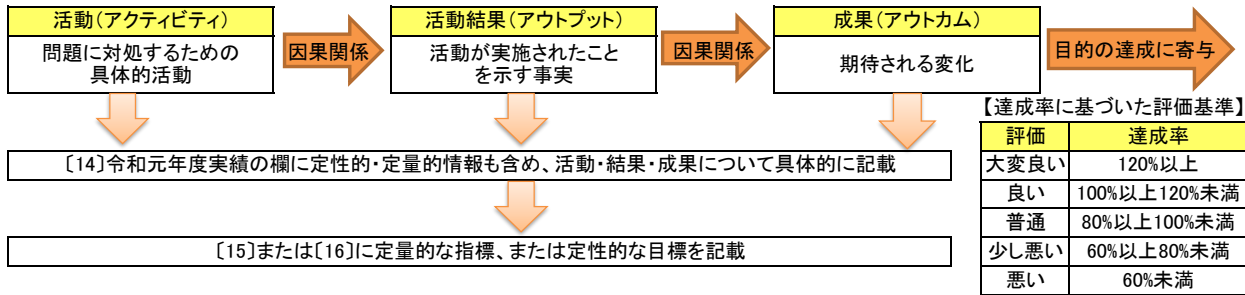
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	3,337	2,913	2,831	2,213	2,808	2,266	2,612	
主な事業費内訳	謝礼金	千円	2,000	1,535	1,860	1,330	1,850	1,420	1,800
	消耗品等購入費	千円	807	900	641	618	628	592	482
	楽器修繕料	千円	500	454	300	237	300	216	300
	保険料	千円	30	24	30	28	30	38	30
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
財源内訳	市債	千円							
	その他(指定寄付金 等)	千円	1,000	203	500	188	500	158	500
一般財源	千円	2,337	2,710	2,331	2,025	2,308	2,108	2,112	
12 人件費 (b)	千円	18,040	19,740	18,860	20,560	18,630	18,630	20,540	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	21,377	22,653	21,691	22,773	21,438	20,896	23,152	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	予防行政の充実事業(消防音楽隊)	シート番号	090-026
-------	------------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>消防音楽隊の活動は、普段消防吏員として勤務する隊員が業務として、火災予防や予防救急等、市民の安全・安心を守るための広報を行っている。主な活動は、管内(堺市・高石市)の小学校へ出向き行っている「音楽鑑賞と防災のおはなし」であり、6年間で全小学校を1巡している。上記の活動は、小学校在学の際に、必ず防火・防災に関する話を聞くことで、低年齢層から防火・防災への意識を高める目的のため実施している。令和元年度は、18校に対して「音楽鑑賞と防災のおはなし」を実施。また、各消防署が行っている火災予防イベントに10回、市が主催するイベントに6回、府主催などその他のイベントに2回参加し、いずれも火災予防を啓発することで、市民の防火・防災への意識向上のきっかけとなった。</p>					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	① 小学校・支援学校などでの音楽鑑賞と防災のおはなし 防災意識の向上効果	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		98	98	100	
		達成率		98%	98%	100%	
		評価		普通	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		音楽鑑賞と防災のおはなし出演後のアンケートで防災意識向上に「大変効果があった」もしくは「効果があった」と回答のあった割合。				
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	② 広報活動実施回数 (①を含む音楽隊出演回数)	目標値	回	37	37	35	21
		実績値		39	36	36	
		達成率		105%	97%	103%	
		評価		良い	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		定例的に参照している各種行事の数を年間の活動目標として設定している。				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	広報活動実施回数(〔16〕の内容を含む)	回	39	36	36
	②	上記①にかかる年間経費	千円	22,653	22,773	20,896
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	580,846	632,583	580,444
備考(算出についての説明等)						
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

#### 業績の分析

		<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>	
19		<p>令和元年度の年間広報実施回数は、目標値を越えることができた。例年、音楽隊が出演する回数がほぼ固定されているため、昨年度も大きく変動することはなかったと思われる。</p>	

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

## 令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	予防行政の充実事業(消防音楽隊)	シート番号	090-026
-------	------------------	-------	---------

### ≪ V. 点検 ≫

#### ＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 →

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 市民に対する火災予防啓発の手段が減ることで、消防への親しみと楽しみを感じながら音楽を通じ火災予防や防災に関する啓発を行うことが出来なくなり、市民の防火意識を高めることができなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 消防や音楽へ興味のないイベント参加者に対して、火災予防広報する機会を失うこととなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 今まで送付していたリーフレット等について、データ送付等に置き換えることとし、コスト削減を図る。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> イベント等の参加者に対し、火災予防広報をすることで、音楽を通じて火災予防広報による防火啓発を実施していた。コロナ禍ではSNS等の活用することによる広報活動を実施しつつ、イベント出演の際は会場の規模や参加人員等を事前に確認し、感染予防対策をとるなど改善を検討する必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<b>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)</b> ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部署等との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( 教育委員会、庁内各部署 ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> リモート演奏による広報活動映像の作成を行い、SNS等にアップロードすることや、消防職員が演奏とともに火災予防広報を収録した映像を対象者に送付し視聴してもらうことで、より広範囲に、効果的に実施できる。 また、今後はイベントでの演奏内容、手法についての検討が必要。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 今後も当事業に関しては、継続して実施する必要がある。小学校や各種イベントにて、消防職員が音楽を奏で、火災予防広報等を直接的に行うことは、防火・防災の意識を向上させる絶好の機会と捉えている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、今後、音楽隊の出演方法を変更する。具体的には、出演の際に、会場の規模や参加人員等を事前に確認する等、感染防止を徹底した取り組みを行う。また演奏手法の一つとしてリモート演奏や、映像コンテンツでSNSにアップロードする等の手法を講じ、リーフレットについては、データ送付等に置き換え、コスト削減を図る。 上記の内容を踏まえ、直接または間接的に市民に広報していくことが重要であると考えている。		